No. 275　1997 年 7 月
事務局　東大宇宙線研

宇 宙 線 研 究 者 会 議 連 絡 誌

1. 平成 8 年度第 4 回ＣＲＣ実行委員会 (1997 年 3 月 29 日) 議事要録
2. 平成 8 年度第 2 回ＣＲＣ総会 (1997 年 3 月 30 日) 議事要録
3. ＣＲＣ各種選挙結果

★ ★ ★　連絡誌の電子化を始めました　★ ★ ★

CRC ホームページ ;http://www.icrr.u-tokyo.ac.jp/CRC/

へ アクセスして、**CRC** 連絡誌 **No.275** などを お読み下さい。
E-mail address をお持ちの会員には、原則として 今年度から **CRC** 連絡誌を郵送しませんが、下記の方は 事務局まで ご連絡下さい。

(a) Browser(Netscape,Explorer など) を用いて、ホームページにアクセスできない方。
(b) ホームページをアクセスしたが、連絡誌の記事を正常に出力できなかった方。
(c) 今回は連絡誌を郵送で受け取ったが、次回からホームページをアクセスできる方。

(事務局連絡先): **E-mail: crcjimu@icrr.u-tokyo.ac.jp**
Fax:0424-62-3096 CRC 事務局宛
Tel.0424-69-9591(手嶋, 林田) or 0424-69-9523(大西)
郵便:〒 188 田無市緑町 3-2-1 東京大学宇宙線研究所 CRC 事務局宛

会費は、CRC 事務局会計担当 (東大宇宙線研 岡田) へ直接 お渡し頂くか、
或いは、下記の郵便振替で お振込み願います。

郵便振替 口座番号: **00280 - 3 - 70114**
口座名称: ＣＲＣ事務局

平成 8 年度第 4 回実行委員会議事要録

日 時 : 1997 年 3 月 29 日
場 所 : 名城大学 日本物理学会 YY 会場
出席者: 伊藤信夫 (委員長·大阪市大)、鳥居祥二 (神奈川大)、山本嘉昭 (甲南大)、
手嶋政廣 (宇宙線研)、柴田徹 (青山学院大)、太田周 (宇都宮大)、
松岡勝 (理研)、坪野公夫 (東大)
事務局: 松原豊 (名大 STE 研: 庶務)、川隅典雄 (山梨大: 会計)

1. 会計報告 (川隅)

山梨大学より、平成 8 年度の監査済み会計報告が行なわれ、それを承認した。
平成 8 年度の収支は以下の通りである。

収入

前期繰越 (大阪市大 中川氏より)	71,720 円
会費	445,000
合計	516,720 円

支出

会費振込送料負担	8,090 円
会誌印刷·製本 (甲南大 ♯273)	41,112
同上郵送費	52,750
郵送用封筒、その他 (甲南大)	27,902
会誌印刷·製本 (名大 ♯274)	45,320
同上郵送費	41,550
郵送用封筒、その他 (名大)	31,730
実行委員会旅費一部補助	17,000
事務局費 (甲南大)	28,000
事務局費 (名古屋大)	10,000
事務局費 (山梨大)	10,000
合計	313,454 円

収支残高 203,266 円

2. CRC 総会の準備

総会の内容として以下の項目を挙げた。

(報告) : 事務局報告、 各種委員会報告、 入退会者の報告、 各種選挙
(議題) : 次期事務局、 将来計画

3. 各種選挙

前回、平成 8 年度第 3 回実行委員会 (平成 8 年 12 月 24 日) で行なうことを決めた各種選挙は、会誌 274 号により公示され、現在行なわれている事を確認した。
また、実行委員長の方から素粒子·原子核研究所運営協議会委員の外部委員を推薦するための実行委員による書面選挙の結果が報告された。推薦されたのは次の 3 名の方である。

村木 綏 (名大 STE 研)、湯田利典 (宇宙線研)、鈴木洋一郎 (宇宙線研)

4. 入退会者

< 入会者 >

手嶋委員から入会者として以下の 4 名を推薦したい旨紹介があり、実行委員会で承認した。 現在 4 人とも宇宙線研空気シャワー部で、AGASA·Telescope Array で研究中である。

北村 尚	神戸大理 D2	(永野元彦、手嶋政廣)
西川大輔	東大理 D2	(永野元彦、手嶋政廣)
榊 直人	東大理 D1	(永野元彦、手嶋政廣)
山本常夏	東大理 D1	(永野元彦、手嶋政廣)

< 退会者>

事務局から、以下の方々から退会希望が出ていることが報告され、これを承認した。

高岡宣雄氏 (九州大)
石塚武男氏 (埼玉大)
前田康子氏 (横浜国立大)
三雲瑛子氏 (無所属)
和田雅美氏 (無所属)

< 逝去 >

3 月 15 日に大阪市大名誉教授である東茂氏がご逝去された。

5. 次期 (平成 9 年度) 事務局

次期事務局は、宇宙線研究所に庶務および会計をそれぞれ 1 年間依頼する事になった。

(庶務担当): 手嶋、林田、大西　　(会計担当): 岡田

平成 8 年度第 2 回ＣＲＣ総会議事要録

日 時: 1997 年 3 月 30 日 17:00-19:00
場 所: 名城大学 日本物理学会 WA 会場
出席者 (敬称、所属略): 荒船次郎、石野宏和、市村雅一、伊藤信夫、内堀幸夫、大内達美、太田周、大橋陽三、岡田淳、奥村公宏、梶田隆章、川隅典雄、梶野文義、木舟正、倉又秀一、黒田和明、小早川恵三、坂田通徳、櫻井敬久、佐々木真人、篠野雅彦、佐藤勝彦、塩見昌司、柴田祥一、柴田徹、高澤勝、田阪茂樹、坪野公夫、手嶋政廣、戸塚洋二、鳥居祥二、南條宏肇、西澤正巳、西嶋恭司、林田直明、日比野欣也、堀田直巳、本田建、増田公明、松原豊、水谷興平、村木綏、安野志津子、柳田昭平、山本嘉昭、湯田利典、(以上 46 名、総会不成立)

[報告事項]

1. 事務局報告 (松原)

平成 8 年度後期の事務局庶務 (名大 STE 研) より、CRC 連絡誌 No.274 の発行が報告された。また、平成 8 年度の監査済み CRC 会計 (山梨大) が実行委員会で承認されたことが報告された (詳細は平成 8 年度第 4 回実行委員会議事要録)。

2. 実行委員長報告 (伊藤)

実行委員会 (平成 8 年 12 月 24 日)

1) 宇宙線国際会議国内準備委員会

所長と実行委員長の提案による下記の委員が承認された。

(所内): 手嶋政廣、湯田利典、黒田和明、鈴木洋一郎

(所外): 太田 周、村木 綏、山本嘉昭

2) CRC 連絡誌

連絡誌 No.273 が事務局 (立教大 柳町、甲南大 坂田) から発行され、1 月初旬に配布。

連絡誌 No.274 が事務局 (名古屋大 松原) から発行され、３月中旬に配布された。

3) 選挙

3-1) 以下の選挙を行なうことが承認された。

(1) CRC: 実行委員長 (1 名)、実行委員 (12 名)

(2) 東京大学宇宙線研究所共同利用実施専門委員会委員 (被推薦委員候補者 12 名) を順位をつけて推薦する。分野等を含めて最終的に所長が 8 名を選ぶ。

(3) 第 17 期原子核専門委員会委員推薦のための選挙。被推薦者数は 7 名。

3-2) 素粒子･原子核研究所運営協議会委員。

当協議会の外部委員として、宇宙線から 1 名を委嘱する案が出ている。

CRC では 2 月 15 日から 3 月初め頃、実行委員による書面選挙で決定する。

∗ 高エネルギー物理学研究所長･原子核研究所長･東京大学大学院理学系研究科長から上記委員候補者の推薦依頼があり、実行委員による投票の結果、次の 3 名を推薦した。

村木 綏 (名大 STE 研)、湯田利典 (宇宙線研)、鈴木洋一郎 (宇宙線研)

4) 次期 (平成 9 年度) 事務局

次期事務局は、 1 年間 宇宙線研究所に庶務および会計を依頼する事になった。

(庶務担当): 手嶋、林田、大西　　(会計担当): 岡田

5) その他

5-1) 平成 8 年度前期事務局の甲南大学より、CRC 連絡誌発行に関する提案があり、その主旨は合意された。特に CRC の名簿等、事務局の業務に必要な資料の電算化や電子メールによる連絡等の合理化を、次期事務局に依頼することになった。

5-2) 訃報 :3 月 15 日 東茂氏 (大阪市大名誉教授) が、ご逝去された。CRC として弔電とシキビを送り、お悔やみ申し上げた。。

3. 宇宙線研究所報告 (荒船)

1) 人事報告

1-1) 4 月 1 日以降の所長·施設長

(1) 研究所長	戸塚洋二 (新任)
(2) 乗鞍観測所長	湯田利典 (継続)
(3) 神岡施設長	戸塚洋二 (継続)
(4) 明野観測所長	永野元彦 (継続)

1-2) 公募人事

(1) 教授 (重力波実験)	黒田和明·助教授
(2) 助教授 (宇宙物理、DSS)	関口真木·天文台助手
(3) 助教授 (ガンマ線)	森正樹·宮城教育大助教授
(4) 助手 (神岡)	小汐由介·東大大学院 (理)D3

1-3) 研究員

転出

COE 研究員	佐藤 丈	→ 学振特別研究員 (東大理)
COE 研究員	M.D. Roberts	→ 学振外国人特別研究員 (宇宙線研)
研究員	吉越貴紀	→ 学振特別研究員 (宇宙線研)
研究員	稲垣知宏	→ 学振特別研究員 (神戸大理)
研究員	内堀幸夫	→ 科技庁放医研客員研究官

新任 (4 月 1 日∼)

COE 研究員	御村幸宏	← 東工大·理 (理論)
COE 研究員	浅賀岳彦	← 東北大·理 (理論)
COE 研究員	本間謙輔	← 都立大·理 (重力波)
研究員	片寄祐作	← 市大·理 (エマルション)
研究員	辰巳大輔	← 阪大·理 (重力波)

1-4) 事務部 (4 月 1 日∼転出)

(1) 広庭親範·施設掛長	→ 新国立劇場
(2) 久下谷清美·共同利用掛長	→ 社会科学研

2) 予算

2-1) 平成 9 年度予算、原子核研究所からの 3 名の移管 (技官 2 、事務官 1)

2-2) 10 年度予算要求　柏キャンパス建物 (平成 10、11 年度建設、12 年度移転)
計算機、宇宙線観測情報融合センター、共同利用宿舎

2-3) チベット、新 5 年計画

3) その他

3-1) 神岡に新研究棟、宿舎完成 (3 月)

3-2) 国際会議予定

(1) ニュートリノ 98 を高山に招待

(2) 重力と天体物理を今年度に (黒田)

(3) ICRC2001 の日本への招待を計画中

3-3) 将来計画の現状と見通しに関する検討シンポジウム (9 月)

3-4) 鋸山施設を平成 10 年までに、田無に撤収する。既に一部は田無に移されている。

∗ 報告の後、10 年間宇宙線研の所長を務められた荒船次郎前所長に対し、実行委員長の音頭で皆で労をねぎらった。また、戸塚洋二新所長より新任の挨拶があった。

4. 学術会議物理学研究連絡委員会 (物研連)、原子核研究専門委員会 (核専委) 報告 (村木)

平成 8 年 11 月以降物研連·核専委は開かれておらず、連絡誌 No. 274 にある状況と変わっていないが、村木委員から 2 、 3 の補足説明があった。次期委員会は 4 月中旬以降に開かれる予定。(∗ 4 月 23 日に核専委、24 日に物研連が開かれた。)

5. 阪大核物理センター (田阪)

江尻宏泰センター長が再任された (任期 2 年)。核物理センターの 25 周年記念行事が行なわれた。また、 4 月には大塔村施設の開所式が行なわれる。現在、Spring 8 の実験計画、および次期加速器計画について検討中である。

6. 名大 **STE** 研 (村木)

平成 8 年夏、乗鞍に $64\mathrm{m}^2$太陽中性子望遠鏡の建設が設置。アルメニアでは 2 月よりデータ収集を開始。ハワイでは 4 月から運転、 4 月上旬よりデータ収集を開始の予定。コチャロフ氏が 3 月にロシアへ帰国。 4 月に増田助教授が赴任する (埼玉衛生短大より)。

7. 高エネルギー研協議会·原子核研究所 (湯田)

4 月から高エネルギー加速器研究機構が発足するのに伴い、東大原子核研究所は新機構の田無分室となる。田無分室長は野村享氏である。

8. 新入会員·退会者の承認

第 4 回実行委員会で承認された新入会員 4 名の紹介と、本人達の自己紹介があった。また、退会者についてもその報告があった。詳細は実行委員会議事要録。

9. 選挙 (松原)

現在行なわれている CRC 各種選挙の説明がなされた。詳細は CRC 連絡誌 No.274。

10. その他

小早川恵三氏から、最近訳された Geisser の「素粒子と宇宙物理」を CRC メンバーには安く購入できるよう配慮したい旨、説明があった。

[議題]

1. 次期事務局

次期事務局は、庶務·会計とも宇宙線研が引き継ぎ、庶務は手嶋政廣、林田直明、大西宗博の 3 氏、会計は岡田淳氏が担当することとなった。今回は、庶務·会計共に任期を 1 年とした。宇宙線研には 1 年以上担当して欲しいとの声もあり、次期実行委員会で検討することになった。

2. 将来計画

現在、宇宙線研の将来計画として挙がっている 2 つの計画について、各責任者から補足説明があった。

テレスコープアレイ (手嶋政廣)
重力波 (黒田和明)

これらに対していくつかの質問と議論がなされた。平成 4 年に宇宙線研で「宇宙線将来計画シンポジウム」が行なわれ、その後、テレスコープアレイは重点領域の 2 本柱の 1 つとして、重力波は新プロジェクトとして、各々 R&D を行なってきた。平成 9 年 9 月に宇宙線研で「将来計画の現状と見通しに関する検討シンポジウム」を開く予定である。

CRC 選挙結果

開票日:	1997 年 5 月 1 日			
事務局:	松原 豊、安野志津子 (名大 STE 研)			
立会人:	宗像義教、柴田祥一 (中部大)			
CRC 選挙	投票数	106	定足数	105 (有権者数 314)
核専委選挙	投票数	93	定足数	90 (有権者数 270)

注) 以下、n 名連記の選挙で、m 名記入の場合、白票は n-m と数える。
例えば、3 名連記で 2 名のみ記入があった場合、白票は 1 である。

1. CRC 実行委員会

(1) 委員長

順位	氏名	得票	所属	備考
1.	太田 周	70	宇都宮大	
次点	伊藤信夫	7	大阪市大	
	その他	18		
	白票	11		

よって、太田 周氏が実行委員長に選ばれた。

(2) 委員 (12 名、上記委員長に対する票も含める)

順位	氏名	得票	所属	備考
1.	村木 綏	65	名大 STE 研	前
2.	坂田通徳	51	甲南大	
3.	手嶋政廣	49	宇宙線研	前
4.	松岡 勝	44	理研	前
5.	鳥居祥二	41	神奈川大	前
6.	柳田昭平	36	茨城大	
7.	伊藤信夫	35	大阪市大	前
8.	水谷興平	29	埼玉大	
9.	高原文郎	24	都立大	
10.	南條宏肇	21	弘前大	
11.	鈴木厚人	19	東北大	前、くじ
11.	垣本史雄	19	東工大	前、くじ
13.	中畑雅行	18	宇宙線研	
次点	藤本眞克	10	国立天文台	
	その他	117		
	白票	74		

上記の通り、上位から 12 名の内、前年度委員が 6 名以下という制限を越えて 7 名となり、かつ同票 11 位の鈴木氏、垣本氏とも前年度委員であったので、両者でくじをして 鈴木氏が選ばれた。 これにより 13 位の中畑氏が繰り上げ当選した。 尚、もし今後欠員が生じた場合、その人が前年度委員であれば垣本氏が、前年度委員でなければ、次点の藤本氏が繰り上げ当選となる。 同一機関は宇宙線研の 2 名であり、 3 名以上の重複はない。

2. 東京大学宇宙線研究所共同利用実施専門委員会委員 (所外委員) 推薦候補者 (12 名)

順位	氏名	得票	所属	備考
1.	松原 豊	52	名大 STE 研	
2.	倉又秀一	35	弘前大	
3.	梶野文義	31	甲南大	
4.	川上三郎	28	大阪市大	
5.	水谷興平	25	埼玉大	
6.	宗像一起	25	信州大	
7.	柳田昭平	25	茨城大	
8.	堀田直己	24	宇都宮大	
9.	田阪茂樹	23	岐阜大	
10.	垣本史雄	22	東工大	
11.	高橋 保	21	大阪市大	
12.	大橋英雄	21	東京水産大	
次点	村木 綏	10	名大 STE 研	
	その他	105		
	白票	99		

上記 1 位から 12 位までの方が、候補者として推薦されることになった。
この中から分野を考慮して 8 名が所外委員に委嘱される。

3. 第 17 期物研連・原子核専門委員候補者 (7 名)

順位	氏名	得票	所属	備考
1.	湯田利典	46	宇宙線研	
2.	戸塚洋二	38	宇宙線研	
3.	村木 綏	37	名大 STE 研	
4.	山本嘉昭	30	甲南大	
5.	松岡 勝	22	理研	
6.	伊藤信夫	16	大阪市大	
7.	鳥居祥二	7	神奈川大	
7.	永野元彦	7	宇宙線研	同一機関
次点	藤本眞克	4	国立天文台	
	その他	36		
	白票	36		

同一機関 1 名という原則から、同票 7 位の永野氏は選ばれない。 但し、
戸塚氏は共同利用研所長なので、CRC から推薦できる (連絡誌 No.274、p21)。
従って、上位 1 位から 7 位までのうち永野氏を除く 7 名が候補者となった。
次点は、藤本氏となる。

発 行　宇 宙 線 研 究 者 会 議
1997 年度事務局 東京大学宇宙線研究所 手嶋政廣
〒 188 東京都田無市緑町 3 - 2 - 1 Tel.0424-69-9591